



平成16年2月27日

各 位

会社名 株式会社 イ チ ヤ
代表者名 代表取締役社長 吉岡 公和
(登録銘柄 コード番号9968)
問合せ先 取締役財務本部長 曾我部達雄
(TEL. 088 - 823 - 2638)

平成16年7月期中間(連結・単独)業績予想及び
通期(連結・単独)業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成15年9月25日の決算発表時に公表した平成16年7月期(平成15年8月1日~平成16年7月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成16年7月期中間業績予想数値の修正(平成15年8月1日~平成16年1月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	519	179	182
今回修正予想(B)	409	192	348
増減額(B-A)	110	13	166
増減率(%)	21.2	-	-
(ご参考) 前期中間実績(平成15年7月期)	412	156	316

2. 平成16年7月期中間連結業績予想数値の修正(平成15年8月1日~平成16年1月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	520	182	185
今回修正予想(B)	409	199	355
増減額(B-A)	111	17	170
増減率(%)	21.3	-	-
(ご参考) 前期中間実績(平成15年7月期)	484	177	332

3. 平成 16 年 7 月期通期業績予想数値の修正（平成 15 年 8 月 1 日～平成 16 年 7 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,097	265	272
今 回 修 正 予 想 (B)	721	449	608
増 減 額 (B - A)	376	184	336
増 減 率 (%)	34.3	-	-
(ご参考) 前期実績(平成 15 年 7 月期)	784	374	545

（参考）1 株当たり予想当期純損失（通期） 8 円 26 銭

4. 平成 16 年 7 月期連結業績予想数値の修正（平成 15 年 8 月 1 日～平成 16 年 7 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,100	272	279
今 回 修 正 予 想 (B)	721	464	623
増 減 額 (B - A)	379	192	344
増 減 率 (%)	34.5	-	-
(ご参考) 前期実績(平成 15 年 7 月期)	856	396	562

（参考）1 株当たり予想当期純損失（通期） 8 円 46 銭

5. 修正の理由

(1)平成 16 年 7 月期中間（単体・連結）業績の修正理由

単体の中間期の売上高につきましては、紳士服等衣料品部門の売上高が競合店の出店攻勢の影響を受け当初計画を 50 百万円下回ったことに加え、ティ・シー・ジェイ(株)から譲受けたインターネットサービス事業の収益見込みが立たないことから撤退することを決議したため、売上高は 409 百万円（当初予想より 110 百万円の減少）となる見込みであります。

単体中間期経常損益につきましては、経費の削減に努めてまいりましたが、売上高減少の影響が大きく 192 百万円の損失（当初予想より 13 百万円の減少）となる見込みとなります。

単体中間純損益は、インターネットサービス事業からの撤退に伴い特別損失として 176 百万円を計上することから、348 百万円（当初予想より 166 百万円の減少）の損失となる見込みであります。

連結の中間期の業績については、上記の単体と同様の理由からの修正となります。

(2)平成 16 年 7 月期通期（単体・連結）業績の修正理由

単体の通期の売上高については、中間期と同様の理由から 721 百万円（当初予想より 379 百万円の減少）となる見込みであります。

単体の通期経常損益につきましては、インターネットサービス事業の収益見込みがなくなることと、現在発行している新株予約権の権利行使の増加を見込んでおり、費用の増加が見込まれることから、449 百万円（当初予想より 184 百万円の減少）の損失となる見込みであります。

単体の当期純損益につきましても、上記の理由から 608 百万円（当初予想より 336 百万円の減少）の損失を見込んでおります。

連結の通期の業績については、上記の単体と同様の理由からの修正となります。

以 上